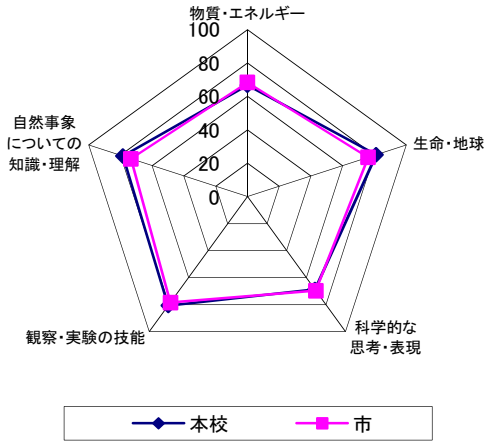
宇都宮市立清原北小学校 第６学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.7	68.3	68.1
	生命・地球	81.1	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	68.8	69.7	68.0
	観察・実験の技能	80.8	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	78.5	73.4	73.9

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「水溶液の性質」の平均正答率は，市の平均正答率を上回っている。また，詳しく見ると，導線の巻き数と電磁石のはたらきの関係を問う問題では正答率が100%であった。 ●「物質・エネルギー」領域の正答率が市の正答率よりも若干下回っており，「ふりこのきまり」や「物の溶け方」が特に低かった。	・実験では実験方法を自分たちで考えるとともに実験方法を確認しながら正しく実験させる。 ・実験の結果を検証し，実験からわかることを考察する時間を重視し，ものの決まりや性質を確実に押さえていくようにする。
生命・地球	○「生命・地球」領域では，市の平均正答率を上回っている。特に，メダカの飼い方や消化管を問う問題では正答率が100%であった。 ●「生物とかんきょう」では，植物が他の生き物を食べなくても生育できる理由や，「植物のつくりとはたらき」の葉のでんぷんをつくるはたらきと日光の関係を調べるための対照実験を行う理由について問う問題で正答率が低かった。	・「生命・地球」の領域では，実験の観察・実験とともに映像資料や模型を活用して指導する。 ・観察実験では予想をたて，実験方法を確認しながら正しく実験させる。対照実験も行う際はその目的をしっかり確認する。